

経営比較分析表（令和4年度決算）

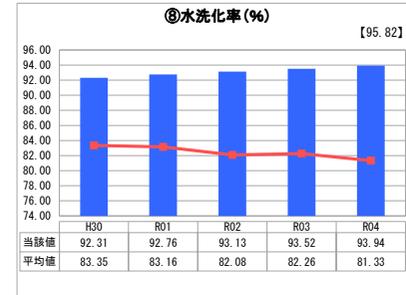
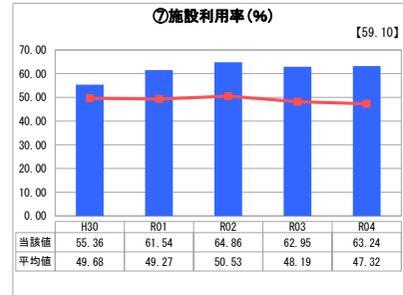
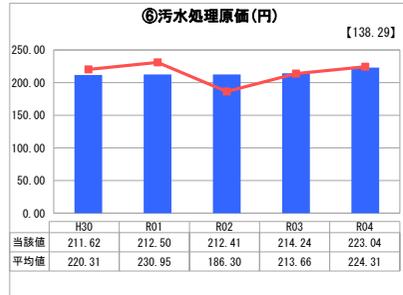
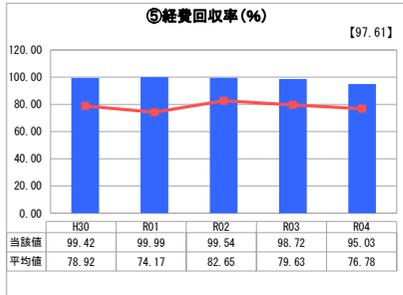
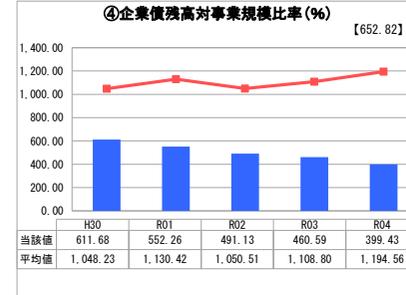
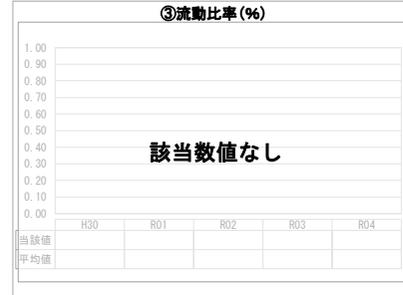
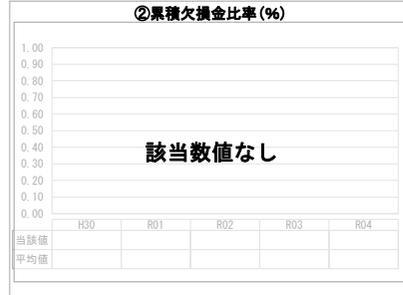
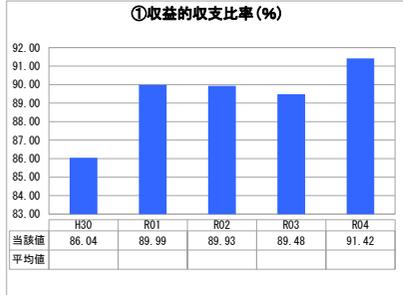
佐賀県 吉野ヶ里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	93.79	86.73	2,310

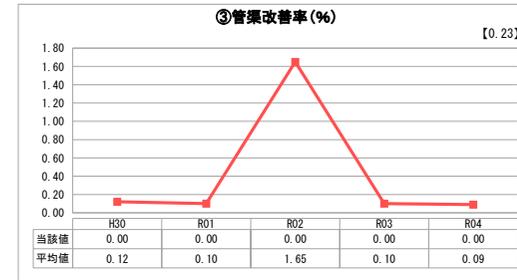
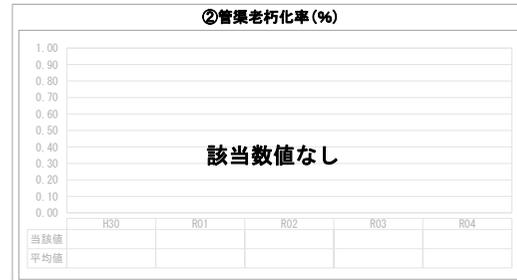
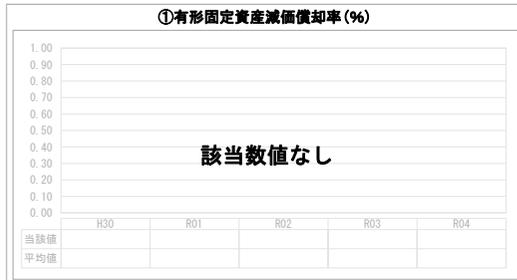
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,228	43.99	368.90
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
15,138	6.29	2,406.68

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・収益的収支比率は90%前後の数値で推移している。今後、老朽化等による施設等の改修も見込まれるため健全経営に努める必要がある。

・経費回収率は類似団体平均値を上回っているものの、90%程度で推移しており、汚水処理収益以外の収入（繰入金）で賄われている状況である。必要に応じて料金の見直しを検討する必要がある。

・汚水処理原価については、令和2年度については平均値が大きく下降したことにより平均値を大きく上回る結果となった。それ以降は平均値程度の数値で推移しており、令和4年度については平均値を下回っていることから今後も引き続き維持費削減に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

・公共下水道事業を供用開始して25年ほどが経過している。処理場の機器類については、老朽化による機器更新等を行ってきているが、今後もストックマネジメント計画に基づく、改修や機器更新が必要となる。

全体総括

・ストックマネジメント計画の見直しを定期的に行い、計画的な機械等の改修を行う必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。